

相浦川でフィールドワークをしました！！

あたご中学部2年生は、理科「夏と秋の生き物」の学習の一環で、環境アドバイザーの大熊 豪さんをお招きして、学校近くの相浦川でのフィールドワークを行いました。

佐世保特別支援学校から歩いて10分ほどの所を流れる「相浦川」は、佐賀県境近くの八天岳付近を水源として、佐世保市北部を約20km流れ、九十九島側の海へと注ぐ自然豊かな川です。



水辺の生き物の生息場所や捕獲の仕方を教えていただきました。

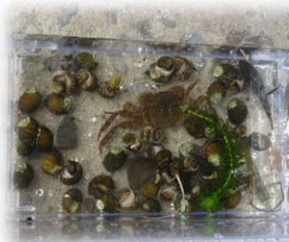


生き物を捕獲するだけでなく、川の水に手をつけて水の流を感じたり、石のつるつるした感触を楽しんだり、川を吹き抜ける秋風を肌に受けたりと、様々な感覚を通して相浦川の自然を感じ取りました。



テナガエビやモクズガニ、どんこ(魚)など、様々な水辺の生き物を見付け、捕獲することができました。

捕獲した生き物は、観察後に川へ戻しました。



捕獲した生き物や河川敷の植物の一つ一つについて、分かりやすく解説をしていただきました。

長崎県環境アドバイザーとは？！

長崎県が登録している環境分野の専門家・実践者を学校や地域の環境学習の講師として派遣する制度です。

環境保全への意識を高め、地域で自主的な環境保全活動を進めることを目的としており、現在は16団体50名の方が「環境アドバイザー」として登録されています。

今回一緒に勉強をした大熊 豪さんも環境アドバイザーの一人です！！



楽しかったこと、勉強になったこと、感謝の気持ちをしっかりと伝えることができました！！